

施政方針(概要)

新型コロナウイルスの対応につきましては、令和2年度におきましても数次にわたる補正予算を編成し、感染拡大防止対策、経済的な下支え策、暮らしの支援及び子育て施設職員への支援などを行ってきたところです。

今後におきましても、本市における影響を十分把握した上で、必要な対策を講じていきたいと考えており、まず当面は、円滑なワクチン接種に取り組んでまいります。

また、昨年7月の豪雨被害対策につきましては、被害を受けた農地の復旧や義援金の配分など早急に取り組むほか、中期的・長期的な対策の調査等にも取り組んでいくこととしております。

令和3年度の主要な取組については、「第6次 荒尾市総合計画」の重点戦略「あらお未来プロジェクト」の5つの柱に沿って、進めていきます。

※詳細は次ページを参照。

令和3年度当初予算では、一般会計が230億8000万円、特別会計が150億1,572万6千円、企業会計が139億6,695万7千円で、全会計の総計は520億6,268万3千円といたしました。これを前年度当初予算と比較しますと、一般会計は1.2%の減、特別会計は2.0%の減、企業会計は21.1%の増、総計で3.7%の増となっております。

今、本市で進めている様々なプロジェクトや施策は、今後、人口減少が避けられない状況下にあっても、長期的に持続可能な荒尾市を築くための今しかできない投資であり、将来にわたって市民の皆様をしあわせにするための布石であります。これらによる公共投資や民間誘導策は、何より本市における資産価値や社会的価値等を高め、経済の好循環を築き、結果として税収増加などによる安定した行財政運営を行い、その果実として新たな行政サービスの提供や住民福祉の向上につなげることを目的とした取組であります。短期、中期、長期の視点を持って推進していきたいと考えております。

皆様の思いを政策推進の大きな指針と位置付け、本市を「暮らしたいまち 日本一」にするため皆様の先頭に立って取り組んでいく決意をしているところです。